
蓬萊町だより

第八十八号

平成 28 年 1 月 25 日

発行 蓬萊町会

町内探訪（14）

盆踊りが始まった頃

昨年開催された盆踊りは四十周年の記念盆踊りでした。十年ひと昔と言いますから四十年前と言えば相当昔のことで、二世代程前の方々が町で活躍していた頃になります。今回の町内探訪では、盆踊りを始めた当時を知る数少ない方々である大畑町会長と池田副町会長に話を聞き、盆踊りが始まった頃の町の様子を含め盆踊りが始まったいきさをまとめてみました。

蓬萊町の盆踊りで主役を演じる太鼓を乗せるやぐらは材木を組み合わせて作ったもので、手作り感のある他の所ではあまり見かけないめずらしいものです。実はこのやぐらは大林寺さんの庫裡を新築する時に出た廃材を使って作ったものです。廃材を有効利用しようというアイデアから盆踊りが始まったわけです。

当時（1970年代中頃）は、日本経済が破竹の勢いで伸びその絶頂期だった頃ですが、それとは裏腹に、二年に一回の根津神社の祭礼では、担ぎ手がいなくて神輿を出すことができず、ただ神酒所に飾っておくだけの年が十数年続いていたそうです。また、町内の若い世代で親しく言葉を交わすことも少なく若い世代の連帯感が薄かった、町の中はそんな様子だったようです。

そんな時、隣町会に住んでいた当時二十六歳の現町会長の大畑さんが結婚して蓬萊町内に住み始め、それが変化のきっかけになりました。「あんな立派な神輿を飾っておくだけで担がないのはもったいない」ということで、大畑さんが青年部の設立を町会長に働きかけ青年部が誕生しました。青年部の初会合にはなんと四十五名もの人が参加したそうです。当時の町会長が倉田さん、最初の青年部長が大林寺ご住職の佐々木さん、副部長が三宅さん、橋本さん、半沢さんでした。そしてお祭りの神輿巡幸の話はとんとん拍子で進んで、今日まで途切れることなくお御輿が町内を練り歩いています。



しばらくして神輿巡幸が二年に一回だったことから、「陰祭りの年にも何かやりたいな」という気運が盛り上がって、丁度折り良く大林寺さんの庫裡の新築があり、大林寺ご住職で青年部長でもあった佐々木さんと倉田町会長の間で廃材として出る庫裡の柱を使ってやぐらを作り盆踊りをやろうということになったそうです。その話を聞いて早速大畑さんが朝四時から廃材の釘を抜き、倉田さんがぐらに組めるように廃材の材木を加工し、盆踊りに向けて動きが一気に加速しました。あつと言う間にお膳立てができてしまいました。が、盆踊りまで二カ月しかなく、「時間がなくてできっこない」という人もいましたが、精力的に準備を進め開催に漕ぎ着けました。太鼓は学校から借り、太鼓のたたき手は青年部でたたき方を習いに行つて急ごしらえし、踊りの先生を清水さんをお願いして踊りの稽古をし、また、大観音さんの境内にやぐらを立てるに当たっては、町のしきたりがあつて、トビやテキヤの人への手配りを怠り一悶着ありました。なんとか四十年続いている盆踊りがスタートしました。

翌年、盆踊りの立ち上げにご尽力頂いた倉田さんがなくなり、二回目の盆踊りは大林寺さん境内での追悼盆踊りとなりました。

三回目から、場所が大観音さん境内に戻り、また、町内で自前の太鼓を作り、太鼓のたたき手は昨年亡くなられた中島さんをお願いして定期的に習いにいってもらい、以降二年に一回、盆踊りが続けられています。

昨年の盆踊りは、四十周年記念盆踊り兼中島さん追悼盆踊りと銘打って、プロの歌謡シヨを織り込んで盛大に行われました。

あいにく雨模様の盆踊りとなりましたが、出店は定番の焼きそば、フランクフルト、焼き鳥に、飲み物は冷えた缶ビールと缶ジュースとラムネ、さらに町内にあるバー「リトルバード」が出張してカクテルを提供、ゲーム遊びは射的、サイコロ投げ、ボール投げ、ヨーヨー釣りが出店しました。

途中、消防隊員により救急救命の体験学習、歌謡シヨ、老岐坂太鼓の面々の太鼓の披露、故中島行雄さんの追悼太鼓等を交えて盛り上がりを見せました。近年、盆踊りは東洋大学のボランティア部の皆さん、東大サッカー部の面々等、若い方々のご協力を得て運営されています。来て頂く方々も町内及び近隣町内の人だけでなく、盆踊りの開催を聞きつけた遠方の方や外国の方も見えています。



中高年の人にとっては子供や若人と触れ合える楽しい場であり、子供から大人までが楽しめる、世代を超えた交流、親睦の場となっています。(文責 猪熊良一)

防災コンクールで優勝

十一月四日、文京区総合体育館湯島地域活動センターで防災コンクールが開催されました。わが町会からはAチーム（小林晴彦、豊田崇、木村仁美）、Bチーム（藤関芳江、小山美弥子、大西康晴）の二チームが出場し、Bチームが見事優勝、Aチームが三位の好成績をおさめました。



書き初め練習会

郁文館夢学園書道部様のご指導による小学生を対象にした書き初め練習会が十二月二十六日に開催されました。今回は昨年に続く二回目の開催で、六名の参加者は、三時間程、書道部員の生徒さんから個別に指導を受け、すぐに上達して綺麗な字で作品を仕上げました。



平成27年度盆踊り会計報告		盆踊り実行委員会	
収 入		支 出	
協賛金(50名)	586,400	設営関係経費	317,407
屋台売上	218,800	運営関係経費	268,418
ゲーム売上	61,600	芸能関係経費	183,164
町会助成金	500,000	御礼	193,120
東京都助成金	150,000	屋台仕入れ代金	239,958
鉢払い会費	50,000	ゲーム仕入れ代金	52,234
		飲食経費	37,502
		鉢払い経費	155,000
		小計	1,446,803
		残金	119,997
合計	1,566,800		1,566,800
1) 東京都助成金は20万円のうち15万円を盆踊りに充当した。			
2) 残金119,997円は本会計に戻した。			

蓬萊句壇

土瓶蒸しすだち一滴味深し 津久井たかを
 秋深し隣も何もしない人 野出園蛸
 つつついて小芋まるぶや膳の上 古川帰蝶
 ファイナレは黒のエンビに冬の薔薇 藤井明世
 芋の露宇宙のロマンゆうらゆら 塩谷さざり
 門燈を消し蟋蟀に闇返す 船越はるき
 大花野抜けて帰りぬ童唄 岡部恒田
 幼な児も口に紅差す七五三 池田南北



町会活動の概要

平成27年6月から平成27年11月まで

- 6/8 駒込警察母の会総会
- 6/9 駒本小学校ふれあい給食会
- 6/28 向丘地区宿泊研修会
- 7/5 婦人部定例会
- 7/7 駒本小学校運営連絡協議会
- 7/13 日赤献血運動
- 7/25 向丘青少年健全育成会 六中プール
- 7/27 日医大建替工事協議会
- 8/29 40周年大観音盆踊り大会
- 9/7 海蔵寺 天ぷら会
- 9/24 秋の交通安全運動
- 9/26 お寺のよこ運営協議会
- 10/4 向丘連合まつり運動会 赤組(蓬萊町会)
- 他)2年連続優勝
- 10/5 くすの木の郷 奉仕活動
- 10/9 駒本小学校防災講話
- 10/11 青少年健全育成会バスハイク
- 10/21 赤い羽根募金
- 10/25 こまもとまつり
- 11/1 婦人部定例会
- 11/4 防災コンクール 優勝・第三位
- 11/13 防犯キャンペーン運動
- 11/17 リサイクルバス見学会

訃報

金井孝禧様	73歳	向丘 2-20-14
吉田勝彦様	88歳	向丘 2-24-6
小野芳子様	76歳	向丘 2-23-20
上田良子様		向丘 2-18-13
石田七五三吉様	85歳	向丘 2-18-2
水野昌行様	77歳	向丘 2-25-13
廣澤スエ様	96歳	向丘 2-15-18

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

謹賀新年

新しい年が健やかで幸多い年となりますよう
 ご祈念申し上げます。また、本年も町会活動への
 ご協力、ご支援をよろしくお願い致します。
 来る二月二十八日(日曜日)に恒例となりまし
 た「お餅つき大会」を行います。皆様のご参加
 をお待ちしております。

編集委員 本城康至 坂本禎一
 大熊敏幸 猪熊良一